

復活の主日「復活の聖なる徹夜祭」

福音朗読 マタイ 28・1-10

2023.4.8 18:30

カトリック高円寺教会  
主任司祭 高木健次神父

皆さん、ご復活おめでとうございます。

このように、復活徹夜祭を人数の制限も無くご一緒にお祝いすることができ  
ることを改めて喜びたいと思います。今日、わたしたちはそれぞれ、イエス様と  
の繋がりである信仰の恵みをいただいたことを思い起こし、そして一人ひとり  
の心の中に改めてイエス様をお迎えする、そういう気持ちでこの典礼を共に  
お捧げしたいと思います。

今日のこのごミサの最初に、復活したイエス様を表わす復活のろうそくの祝  
福と点火がありましたけども、火が途中で消えてしまいました。まだ火が芯に定  
着しないうちにわたしが早く歩いてしまったので、一回火は消えてしまいま  
した。これは不注意ですけれども、わたしたちの信仰生活も表しているような気が  
します。

イエス様との繋がりっていうのは、やっぱりそれが定着するまでには時間か  
かかるとです。ろうそくの火もずうっとしばらく点いていれば安定して持ち歩  
いても消えないんですけど、すぐ動かせばまだ芯に火が十分に回っていないの  
で消え易い。わたしたちの信仰もそういう面がある。イエス様との繋がりとい  
うのは時間をかけて育まれる中で、わたしたちがどのような場面に行ったとし  
てもその繋がり、希望を忘れることがないような確固としてものになって行  
くっていうことは事実なのではないかなと思います。それでもやっぱり消え  
てしまう、あるいは小さくなって、イエス様のことをわたしたちは忘れてしま  
う、そういう時は訪れる。その度ごとに、毎年わたしたちが主のご復活を改め  
てお祝いし直すように、イエス様に一人ひとりの心の中に帰って来ていただく  
必要があると断言していいと思います。

例えば、わたしはこの高円寺教会の主任司祭としてこの教会に対しての責任  
を強く感じているわけです。信者さんたちが長い間かかって近所の人との繋  
がりを良好に保ち、そしてそれぞれ教会を愛して、この場所での、建物のこと  
もそうだし、教会そのものの活動もずうっと繋いで来られたということ  
を妨げないように、っていう責任を感じています。そして、いろんな形でキ  
リスト教とか教



いうことに勇気を得て、改めてそれぞれの場で信者として生きて行く、その思いを新たにしたいと思います。

---

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>